

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名	キラーク・シャーク	投球者	徳江 和則	センター	平和島スターボウル
RG	2.500	△RG	0.055	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール	

テストボール：キラーク・シャーク

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番

比較対照ボール：ヴァルチャー

フレアーの幅 インチ

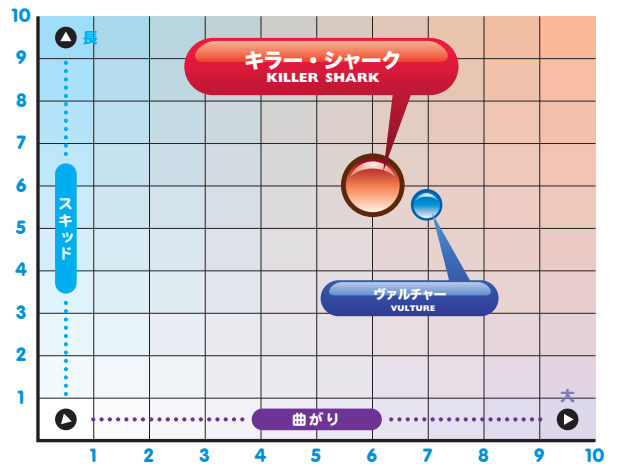
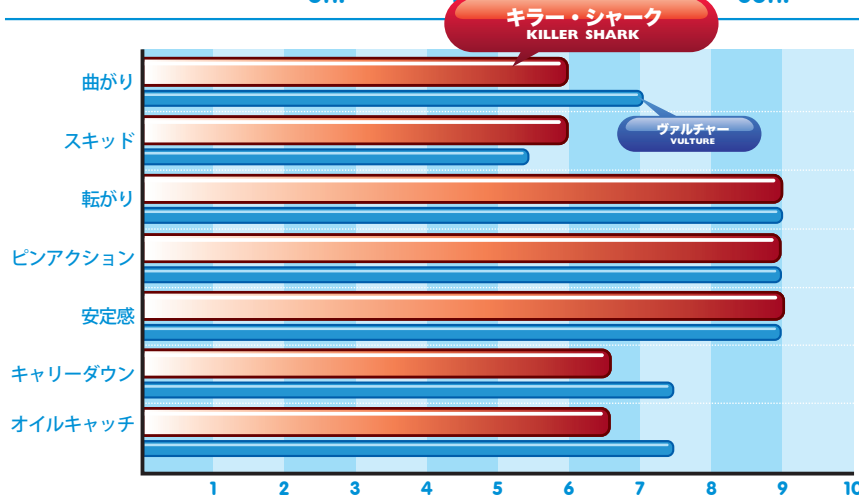
PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

番



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

Natural Enemiesはブランド立ち上げ以降、完全オリジナルのInternational製品で品質・性能にこだわり作成されています。HPでPanther、UMPでVultureをリリースし2016年第3弾はMPでこのKILLER SHARKをリリース致します。LCD-72(Low Crosslink Density/低架橋密度)、Modified Smackdown Coreとの組み合わせですが、特に今回のCoverstockにはこだわりました。MP領域で走りを出すけれども曲りのイメージで弱すぎないキャッチ、MP領域でもHPと同等のピンアクションを得られること。ポウラーがボールのレポートを組む判断基準で、曲りのイメージもさることながら最終的にこのボールを選択するポテンシャルとピンとの絡み方、いわゆるいかにピンをミキシング出来るかに着目しています。

この領域で最高峰のピンアクションを実現させるためには、ただピンアクションだけを柔らかくするTechnologyだけでは達成できません。Mid LaneからのHookからRoll期の動きが非常に重要です。そのためMid Laneの安定感に定評があるSmack DownのCoreをModifyすることで曲りのイメージを模索しながらLCD-72と組み合わせ理想の走りとキレを生み出しています。ここでの焦点は遅くなってから使うボールでただ走るだけでなく、しっかりと10本をたおすできるボールかどうか。そのコンディションになってKILLER SHARKを使うかどうかです。上記の通りNatural Enemiesは日本独自のブランドであり、ABSボール開発チームの要望を100%フィードバックさせています。それはいわゆる日本のニーズにあわせ作成されたボールであり、こだわりを表せる場でもあります。多くのボールが発売される中、最終的にこのボールに頼る、頼られるボールをめざしKILLER SHARKは開発されました。その性能を存分に味わってください。

特記事項

日本完全監修のNatural Enemies最新作はMPのKILLER SHARK MP領域でただ10本をたおすことを開発コンセプトに生まれました。